クミアイ化学

4成分　ノビエ2.5葉期まで　田植同時※1キロ粒剤のみ　移植直後　無人航空機※1キロ粒剤のみ

水稲用 初・中期一発処理除草剤

セイテン®

1キロ粒剤　ジャンボ

澄みわたる水田のために。

爽快な水面(みなも)の碧(あお)。







エフィーダ®
（茎葉白化作用）

MY-100
オキサジクロメホン
（優れた残効性）

ベンスルフロンメチル
（幅広い草種に対応）

藻に効く
ジメタメトリン
（藻類の発生を抑える）

4成分で除草を制す。



※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

水稲用 初・中期一発処理除草剤

セイテン®

1キロ粒剤
ジャンボ

●有効成分：オキサジクロメホン……0.80%(1キロ粒剤)、2.4%(ジャンボ)
ジメタメトリン……0.60%(1キロ粒剤)、2.4%(ジャンボ)
フェンキノトリオン……3.0%(1キロ粒剤)、12.0%(ジャンボ)
ベンスルフロンメチル……0.75%(1キロ粒剤)、3.0%(ジャンボ)
鉱物質微粉等……94.85%(1キロ粒剤)、80.2%(ジャンボ)
●人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

除草剤分類 30,5,27,2

MY-100
藻に効く

特　長

- **有効成分『エフィーダ®(一般名:フェンキノトリオン)』を配合した4成分の混合剤です。**
- **オキサジクロメホンがノビエの発生を長期間抑制します。**
- **ジメタメトリン配合で、藻類や表層剥離の抑制効果を発揮します。**
- **エフィーダの作用によりコナギやミズアオイなどの広葉雑草、ホタルイなどのカヤツリグサ科雑草にも高い効果を示します。**
- **ベンスルフロンメチルにより多年性カヤツリグサ科雑草、オモダカ科雑草にも効果を示します。**

適用雑草及び使用方法

2023年12月20日現在の登録内容

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：
オキサジクロメホン2回以内、ジメタメトリン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、ベンスルフロンメチル2回以内

■1キロ粒剤(農林水産省登録 第24815号)

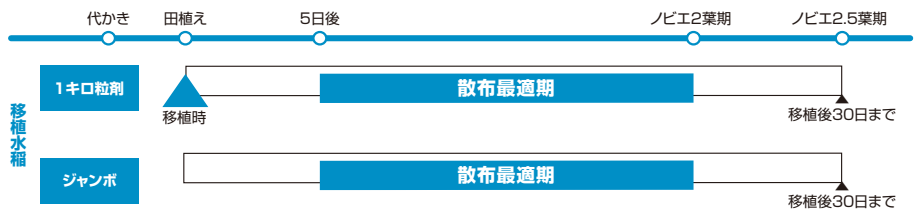
作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで			湛水散布又は無人航空機による散布

■ジャンボ(農林水産省登録 第24816号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ セリ、オモダカ、クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	小包装(パック)10個(250g)	1回※	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。

■上手な使い方

標準的な使用時期



■使用上の注意(抜粋)

【共通】
●本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワは2葉期まで、ヘラオモダカは1葉期まで(ジャンボ)、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始まで、ミズガヤツリは草丈10cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期です。
●オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
●苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
●散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
●以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
○異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
○活着遅延を生じるような異常低温の時
○砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
○軟弱苗を移植した水田
○極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
○植穴の戻りの悪い水田
●梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
●散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
●本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
【1キロ粒剤】
●散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布してください。
●無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
○散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
○専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
○事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
○散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離してほ場内に散布してください。
○水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
【ジャンボ】
●小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
●散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
●藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため使用をさけてください。
●パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

2642(26-11)

JAグループ 農協 全農 経済連
全農は登録商標 第4702318号

クミアイ化学
会社情報